

～読んでみない？こんな本～

ゆかいなかえる

ジュリエット・キープスぶん・え いしいももこ やく 福音館書店



お話しは、水の中にかえるの卵があるところから始まります。たくさんの卵は魚に食べられてしまうのですが、4つの卵だけは流れていきます。卵の黒いところが大きくなって、おたまじゃくしになり、しっぽが縮んでかえるになります。(これは皆さん知っていますね)そして4匹のかえるはもぐったり泳いだり遊んだり…。

おはなし会でこの本の表紙を開くと、わあっというような声が聞かれることがあります。よく知っているおたまじゃくしが見開きいっぱい描かれていて、のびのび楽しそうにしているのが伝わってくるからかもしれません。またこの本のすごいところは、幼い子から小学生くらいの幅広い年齢の子達と一緒に楽しめるところです。文章はテンポよく進みますし、身近な生き物の様子がわかりやすく書かれているだけでなく、お話しも楽しく書かれています。かえる達の遊びもそうですが、かえるを食べに来たサギやカメもうまくだましてしまうところなど、何度読んでも痛快です。